

PHILIPS

Brilliance

498P9



www.philips.com/welcome

JA	ユーザーマニュアル	1
	カスタマサポートと保証	24
	トラブルシューティング & FAQ	27

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1
1.2 表記の説明	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3
2. ディスプレイをセットアップする ..	4
2.1 取り付け	4
2.2 ディスプレイを操作する	7
2.3 MultiClient Integrated KVM	12
2.4 MultiView	13
2.5 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし	15
3. 画像の最適化	16
3.1 SmartImage	16
3.2 SmartContrast	17
3.3 Adaptive Sync	18
4. 技術仕様	19
4.1 解像度とプリセットモード	22
5. 電源管理	23
6. カスタマサポートと保証	24
6.1 Philips のフラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー	24
6.2 カスタマサポートと保証	26
7. トラブルシューティング & FAQ ..	27
7.1 トラブルシューティング	27
7.2 一般FAQ	28
7.3 Multiview FAQ	31

1. 重要

このユーザーマニュアルは、Philips ディスプレイを使用するユーザーを対象にしています。ディスプレイを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。ディスプレイの取り扱いに関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その取り扱い指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのディスプレイを接続して使用するときには、これらの指示を読み、従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニターが変色したり損傷する結果を招きます。
- ディスプレイにオイルが付着しないようにしてください。オイルは、ディスプレイのプラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 通気口に落下する物体を取り除き、モニターの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニターの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニターの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。

- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタムサポートにお問い合わせください。(規制とサービス情報マニュアルに記載されたサービスのお問い合わせ情報をご参照ください。)
- 操作中、モニターに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。-5度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。
- 操作または輸送中、モニターを強く打ったり落としたりしないでください。
- 本製品は必ずアース接続をしてください。
- 背面カバーを取り外すと、帯電部に手が届くようになります。
- 修理を行う前に、常に壁ソケットから主電源のプラグを抜いてください。専門技術者以外は絶対にカバーを外さないでください。この装置には、危険な電圧が含まれています。
- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。
- モニターの過度の使用は目の不快感を引き起こす可能性があります。ワークステーションにおいて、あまり頻繁ではない長い休憩よりも短い休憩をとることをお勧めします。例えば、50～60分の連続画面使用後の5～10分の休憩は、2時間ごとの15分間の休憩よりも効果が高い可能性があります。一定時間画面を使用している間、以下を行い、目の疲れから目を解放するようにしてください：
 - 長時間画面を注視した後は、さまざまな距離を見てみましょう。
 - 作業中に意識的に瞬きをしてみましょう。
 - ゆっくりと目を閉じ、目をキョロキョロさせて、目をリラックスさせてみましょう。

1. 重要

- ・ 画面をあなたの座高にあわせて、適切な高さと角度にしてみましょう。
- ・ 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してみましょう。
- ・ 環境照明を画面の明るさに似た明るさに調整し、蛍光灯やあまり光を反射しない表面を避けましょう。
- ・ 症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみましょう。

メンテナンス

- ・ ディスプレイの損傷を防ぐため、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- ・ 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・ オイルを主成分とする清浄液は、プラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- ・ 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水で湿らせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ・ ディスプレイが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ・ ディスプレイに異物や水が入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタムケアセンターにご連絡ください。
- ・ 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用しないでください。
- ・ ディスプレイの性能を維持し、長く使用するために、ディスプレイは次の温度および湿度範囲の環境で使用してください。
 - ・ 温度: 0 ~ 40°C 32-104°F
 - ・ 湿度: 20 ~ 80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- ・ ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。

- ・ スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

警告

スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。上で触れた損傷は保証には含まれません。

修理

- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。(規制とサービス情報マニュアルに記載されたサービスのお問い合わせ情報をご参照ください。)
- ・ 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- ・ 直射日光下の車内/トランクにディスプレイを放置しないでください。

注

ディスプレイが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順がわからない場合、カスタムケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

1. 重要

❗ 注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

⚠ 警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

⏚ 注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 - WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

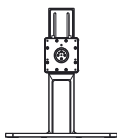
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

2. ディスプレイをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



* Remote Control
Batteries AAA R03 1.5V



* CD



電源



* DP



* HDMI



* USB A-B

* 国によって異なる

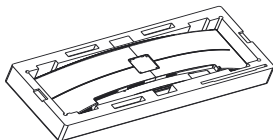
* バッテリー：マンガン単四乾電池（R03、1.5V）

注

販売する国・地域により付属されるケーブルが異なる場合がございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

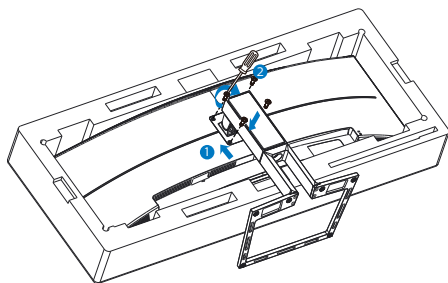
2 ベースの取り付け

1. このモニタを十分に保護し、モニタの傷や損傷を避けるため、モニタを下向きにしてベース取り付け用のクッションに入れてください。

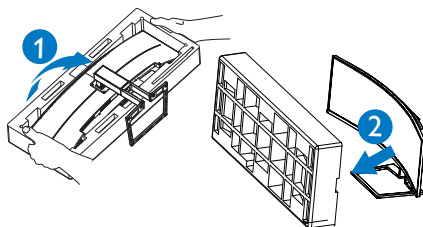


2. 両手でネックを保持します。

- (1) ラッチがネックを固定するように、ネックを VESA マウント領域に取り付けます。
- (2) ドライバを使用して組立ネジを締め、ネックをディスプレイにしっかりと固定します。



3. ベースを取り付けたら、両手でモニターと発泡スチロールを一緒にしっかりと保持して立てます。発泡スチロールを引き出してください。このモニターは湾曲したデザインであることに注意してください。発泡スチロールを引き出すときは、パネルの破損を避けるため、パネルを絞らないでください。



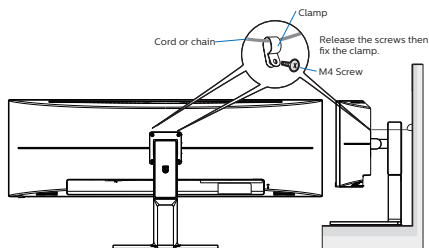
警告

本製品は曲面設計です。ベースに着脱する際は、モニタの下に保護素材を使用してください。また損傷を避けるためモニターを押さないでください。

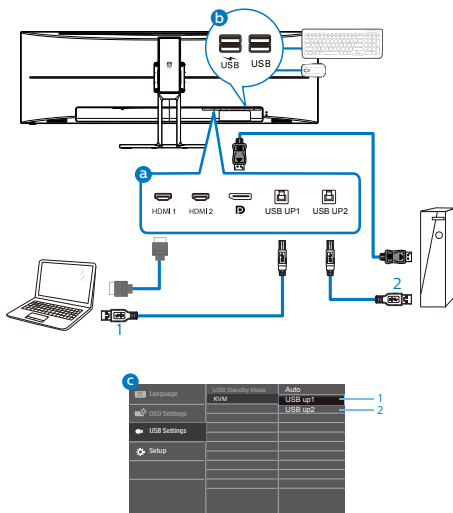
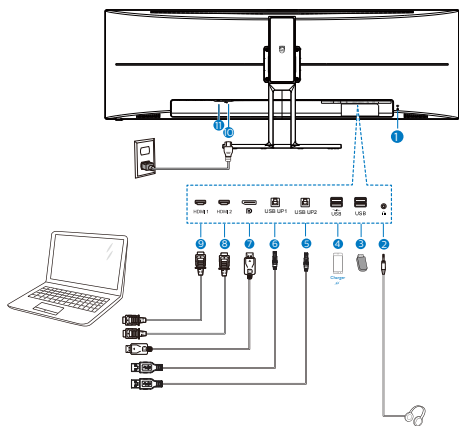
2. ディスプレイをセットアップする

3 転倒防止

ディスプレイを使用するときは、落下を防止するため、ディスプレイの重量を支えることができるコードまたはチェーンを使用して、壁に LCD を固定してください。



4 PCに接続する



- 1 Kensington ロック
- 2 イヤホンジャック
- 3 USB ダウンストリーム
- 4 USB ダウンストリーム /USB 高速充電器
- 5 USB アップストリーム 2
- 6 USB アップストリーム 1
- 7 ディスプレイポート入力
- 8 HDMI2 入力
- 9 HDMI1 入力
- 10 AC 電源入力
- 11 電源スイッチ

PCに接続する

1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。ディスプレイに画像が表示されたら、接続は完了です。

5 USB ハブ

USB 機能をずっと「オン」の状態にするには、OSDメニューに移動し、「USB待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます。モニターを工場出荷時設定にリセットする場合は、必ず、OSDメニューで、「USBスタンバイモード」を「オン」に選択してください。

一部の Philips ディスプレイでは、“スリープ”モードに入ると、デバイスの給電・充電が停止することがあります(白のパワー LED が点滅します)。その場合、OSD メニューに入り、“USB Standby Mode”を選択し、“オン”に切り替えてください(初期設定はオフです)。これで、モニターがスリープモードに入っても、USB 給電・充電機能が維持されます。

 Language	USB Standby Mode	On ✓
 OSD Settings	KVM	Off
 USB Settings		
 Setup		
⬆		

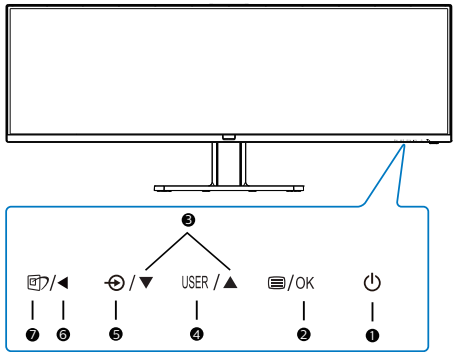
ワイヤレスマウス、キーボード、ヘッドホンなどの USB 2.4 GHz ワイヤレスデバイスは、USB 3.2 以降のバージョンの高速信号デバイスにより干渉を受け、無線伝送の効率が低減する可能性があります。これが発生した場合は、次の方法を試して、干渉の影響を低減させてください。

USB 2.0 レシーバーを USB 3.2 以降のバージョンの接続ポートから離してください。

標準の USB 延長ケーブルまたは USB ハブを使用して、ワイヤレスレシーバーと USB 3.2 以降のバージョンの接続ポートとの間の空間を広げてください。

2.2 ディスプレイを操作する

1 コントロールボタンの説明



1		電源のオン / オフを切り換えます。
2		OSD メニューにアクセスします。 OSD 調整を確認します。
3		OSD メニューを調整します。
4	USER	ユーザーのお気に入りキー。 OSD から自分専用のお気に入り機能をカスタマイズして、「ユーザーキー」にします。
5		信号入力ソースを変更します。
6		前の OSD レベルに戻ります。
7		SmartImage ホットキー。次の 9 つのタイプから選択します：EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode(LowBlue モード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。

2 独自の「USER(ユーザー)」キーをカスタマイズする

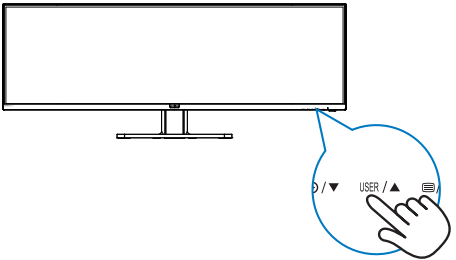
このホットキーでは、お気に入りの機能キーをセットアップできます。

1. 前面ベゼルの ボタンを押して、OSD メニュー画面に入ります。

	Language	Horizontal	Audio Source
		Vertical	Volume
	OSD Settings	Transparency	Brightness
		OSD Time Out	KVM
	USB Settings	User Key	HDMI EDID Switch ☒
	Setup		

2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー [OSD Settings] (OSD 設定) を選択し、OK ボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して [User Key] (ユーザー) を選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して、次のお気に入りの機能を選択します。
5. OK ボタンを押して選択を確認します。

前面ベゼルでホットキーを直接押すことができるようになりました。事前選択された機能のみがクイックアクセス用に表示されます。



2. ディスプレイをセットアップする

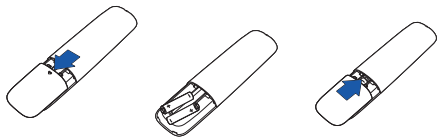
3 リモコンには 1.5V AAA 電池 2 個で電力を供給します。(498P9*)

電池の取り付け・取り換え方法:

カバーを押しながらスライドして開きます。

電池を収納する場所には (+) と (-) の指示があります。それに合わせて電池を入れます。

カバーを戻します。



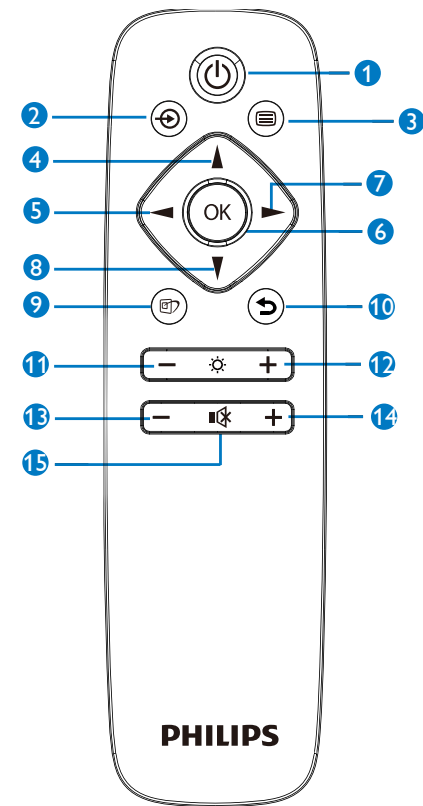
注

電池の使用方法を間違えると、漏れや爆発が発生することがあります。次の指示に従ってください。

- ・ 収納する場所の (+) 記号と (-) 記号と “AAA” 電池の (+) 記号と (-) 記号が一致するように電池を入れます。
- ・ 異なる種類の電池の併用はお止めください。
- ・ 新しい電池と古い電池の併用もお止めください。電池の耐用年数が短くなったり、漏れが発生したりします。
- ・ 漏れを防ぐために、使い切った電池はすぐに取り外してください。電池から液体が漏れた場合、それに触れないでください。皮膚を怪我する恐れがあります。
- ・ リモコンを長期間使用しない場合、電池を取り外してください。

2. ディスプレイをセットアップする

4 リモコンボタンの説明 (498P9*)



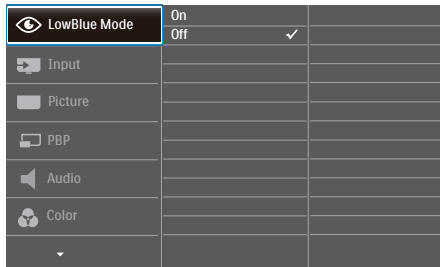
8	▼	OSD メニューを調整します / 値を下げます。
9	☰	SmartImage。複数の選択肢があります。 EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode (LowBlueモード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。
10	↶	前の OSD レベルに戻ります。
11	—	明るさを下げます。
12	+	明るさを上げます。
13	—	音量を下げます。
14	+	音量を上げます。
15	🔇	ミュート

1	🔌	これを押して電源を入れたり、切ったりします。
2	🔄	信号の入力源を変更します。
3	☰	OSD メニューが表示されます。
4	▲	OSD メニューを調整します / 値を上げます。
5	◀	前の OSD レベルに戻ります。
6	OK	OSD 調整を確定します。
7	▶	OSD メニューが表示されます。OSD 調整を確定します。

2. ディスプレイをセットアップする

5 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは
オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD ディスプレイに装備されています。これにより、ユーザーは画面の指示に従って直接画面パフォーマンスを調整したりディスプレイの機能を選択することができます。OSD インターフェースは、次のように表示されます。



コントロールキーの基本および簡単な指示
OSD では、ディスプレイのフロントベゼルの ▼▲ ボタンを押してカーソルを動かしたり、OK ボタンを押して選択または変更を確認できます。

OSDメニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

Main menu	Sub menu	
LowBlue Mode	On Off	1, 2, 3, 4
Input	1 HDMI 2.0 2 HDMI 2.0 DisplayPort Auto	On, Off
Picture	Adaptive Sync Picture Format Brightness Contrast Sharpness SmartResponse SmartContrast Gamma Over Scan	On, Off Wide screen, 4:3, 16:9, Movie 1, Movie 2, 1:1 0-100 0-100 0-100 Off, Fast, Faster, Fastest On, Off 1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6 On, Off
PBP	PBP Mode PBP Input Swap	Off, PBP 1 HDMI 2.0, 2 HDMI 2.0, DisplayPort
Audio	Volume Mute Audio Source	0-100 On, Off HDMI1, HDMI2, DisplayPort
Color	Color Temperature sRGB User Define	Native, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K On Red: 0-100 Green: 0-100 Blue: 0-100
Language		English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brazil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어
OSD Settings	Horizontal Vertical Transparency OSD Time Out User Key	0-100 0-100 Off, 1, 2, 3, 4 5, 10, 20, 30, 60 Audio Source, Volume, Brightness, KVM, HDMI EDID Switch
USB Setting	USB Standby Mode KVM	On, Off Auto, USB up1, USB up2
Setup	Resolution Notification HDMI 1 EDID Switch HDMI 2 EDID Switch Reset Information	On, Off 1, 2 1, 2 Yes, No

2. ディスプレイをセットアップする

6 解像度アラート

このディスプレイは、ネイティブ解像度 5120 × 1440 で最高の性能を発揮するように設計されています。ディスプレイが異なる解像度で作動している場合は、画面にアラートが表示されます：
Use 5120x1440 for best results
(5120 × 1440 を使用してください)

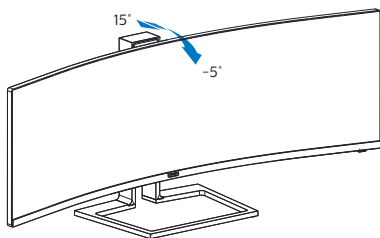
解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの **Setup** (セットアップ) からオフに切り替えることができます。

注

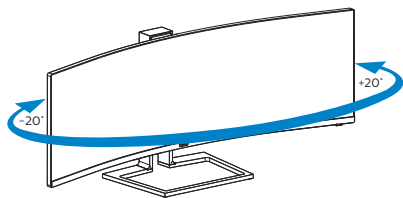
デバイスを HDMI ポートに接続した後、モニタに「No signal」(信号がありません)と表示された場合、デバイスは 5120x1440 の解像度をサポートしていない可能性があります。その場合は、以下の手順に従ってモニタが正しく動作するようにしてください。
カスタマイズされた「ユーザー」ホットキーを押します。(このホットキーのデフォルト設定は「HDMI EDID Switch」(HDMI EDID スイッチ)です)、次に「2」を選択します。これで画面上にコンテンツを表示することができます。

7 角度調整

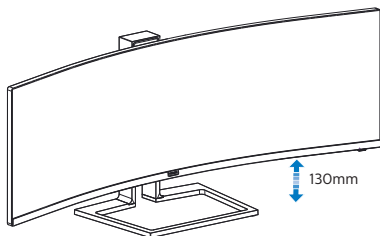
チルト



スイベル



高さ調節



警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

2.3 MultiClient Integrated KVM

1 MultiClient Integrated KVMとは？

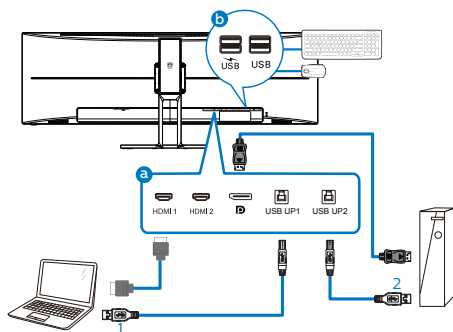
MultiClient Integrated KVMスイッチを使用すると、1台のモニターでキーボード・マウスを2つ設定してPCを制御できます。便利なボタンにより、ソース間をすばやく切り替えることができます。デュアルPCによる計算能力を必要とする設定、または、2台の異なるPCを表示するために1台の大きなモニターを共有する場合に便利です。

2 MultiClient Integrated KVMを有効にする方法

内蔵のMultiClient Integrated KVMを使用することで、OSDメニューの設定により、2つのデバイス間で周辺機器をすばやく切り替えることができます。

設定については、次の手順に従ってください。

1. このモニターの「USB UP1」および「USB UP2」ポートにデュアルデバイスからUSBアップストリームケーブルを同時に接続します。
2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



3. OSDメニューを開きます。KVM layer(KVMレイヤー)に進み、「USB up1」または「USB up2」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。

	USB Standby Mode	Auto
Language	KVM	USB up1
OSD Settings		USB up2
USB Settings		
Setup		

注

MultiClient統合KVMは、デフォルトで「自動」に設定されます。これにより、USB UP1はメイン検出アップストリームポートとして制約されます。USB UP1およびUSB UP2が同時に接続されておらず、アップストリームポートとしてUSB UP2を選択する場合は、OSDメニューで、「KVM」設定が「USB UP2」に設定されていることを確認してください。

2.4 MultiView



1 これは何ですか？

Multiviewにより、アクティブなデュアル接続が可能になり、デスクトップPCやノートPCのような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由は何？

超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも快適なコネクターを享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。例：小さなウィンドウでオーディオケーブル（オプション）をオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックからExcel ファイルを編集しながら、安全な会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたいと思ったことがあるかもしれません。

3 OSDメニューでMultiViewを有効にするにはどうすればいいのですか？

前面ベゼルでホットキー MULTIVIEW を直接押すだけでなく、MultiView 機能を OSD メニューで選択することもできます。

1. 前面ベゼルの  ボタンを押して、OSD メニュー画面に入ります。

LowBlue Mode	PBP Mode	Off
Input	PBP Input	PBP
Picture	Swap	
PBP		
Audio		
Color		
▼		

- ▲または▼ボタンを押してメインメニューを選択し[PBP]、OK ボタンを押します。
 - ▲または▼ボタンを押して[PBP Mode] (PBP モード) を選択し、OK ボタンを押します。
 - ▲または ▼ ボタンを押して [PBP] を選択します。
 - 前に戻って[PBP Input] (PBP 入力)、[Swap] (スワップ) を設定できるようになりました。
2. OK ボタンを押して選択を確認します。

2. ディスプレイをセットアップする

4 OSDメニューのMultiView

[PBP]：ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブ
ウィンドウを並べて開き
ます。

A(メイン)

B

サブソースが検出されな
い場合：

A(メイン)

[PBP Input] (PBP入力): サブディスプレ
イソースとして、次の4つの異なるビデ
オ入力を選択できます: [1 HDMI 2.0]、[2
HDMI 2.0]、[DisplayPort]。

[Swap](スワップ): ディスプレイでスワッ
プされたメインピク
チャソースとサブピク
チャソース。

[PBP]モードのAとBソースのスワップ:



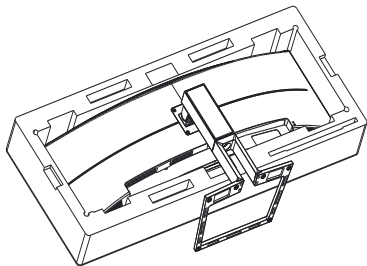
- Off(オフ): MultiView 機能を停止します。

 MultiView	Inputs	SUB SOURCE POSSIBILITY (x1)		
		1 HDMI 2.0	2 HDMI 2.0	DisplayPort
MAIN SOURCE (x1)	1 HDMI 2.0	●	●	●
	2 HDMI 2.0	●	●	●
	DisplayPort	●	●	●

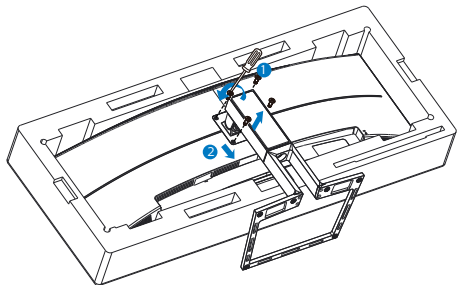
2.5 VESA 取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニターベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

1. ディスプレイを画面を下にして平らな場所に置きます。このとき、画面にひっかき傷が付いたり損傷しないように、柔らかい布などを敷いてください。

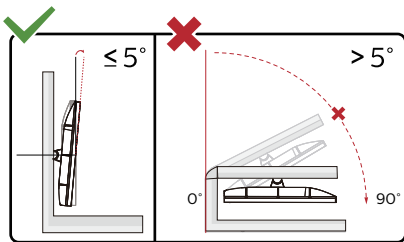
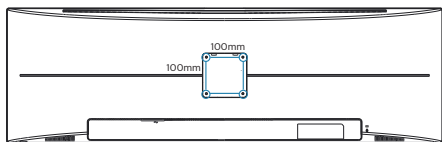


2. 固定ネジを緩め、ディスプレイからネックを取り外します。



注

このディスプレイは 100mm x 100mm VESA 準拠の取り付けインターフェースに対応しています。



* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

警告

本製品は曲面設計です。ベースに着脱する際は、モニターの下に保護素材を使用してください。また損傷を避けるためモニターを押さないでください。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 これは何ですか？

SmartImageはさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImageは最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

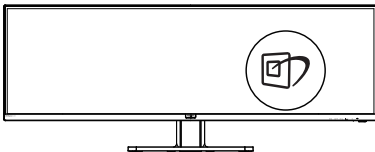
2 必要な理由とは？

どのような種類のコンテンツも、極めて明瞭かつ快適な状態で鑑賞できることが求められます。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御してバックライトを調整し、クリアでくっきりした見やすいゲームとビデオ画像を実現します。また、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartImageは画面に表示されたコンテンツを分析するPhilips独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImageは画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImageはどのようにして有効にするのですか？

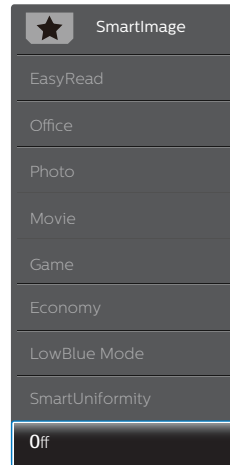


1. 図のアイコンを押して画面ディスプレイでSmartImageを起動します。
2. ▼ ▲ を押し続けると、EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode (LowBlue モード)、

SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)が切り替わります。

3. 画面ディスプレイのSmartImageは5秒間画面に表示されています。または「OK」を押して確認することもできます。

次の9つのタイプから選択します：EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode (LowBlue モード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。



- EasyRead：PDF電子書籍のようなテキストベースのアプリケーションの読み取りの向上に役立ちます。テキストコンテンツのコントラストと境界のシャープネスを上げる特殊なアルゴリズムを使用することで、モニタの輝度、コントラスト、色温度が調整され、ディスプレイはストレスなしに読み取ることができるように最適化されます。
- Office(オフィス): テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- Photo(写真): このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。

3. 画像の最適化

- **Movie(動画)**: 輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- **Game(ゲーム)**: 駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- **Economy(エコノミー)**: このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- **LowBlue Mode (LowBlue モード)**: 目に易しい生産性に対するLowBlueモード研究は、紫外線には目の損傷を引き起こす可能性があること、LEDディスプレイから放射される短波長の青色光線には、目の損傷の原因となり、時間をかけて視力に影響を与える可能性があることを示しています。幸福のために開発されたPhilips LowBlueモード設定は、有害な短波青色光を低減するためにスマートなソフトウェア技術を使用しています。
- **SmartUniformity (スマートユニフォーミティ)**: 画面の異なる部分で、輝度および色が変動するのは、LCD ディスプレイでは一般的な現象です。一般的な均一性は約 75 ~ 80% と測定されます。Philips SmartUniformity 機能を有効にすると、ディスプレイの均一性は 95% 以上に向上します。これによって、生成された画像の一貫性と忠実性が向上します。
- **Off(オフ)**: SmartImageで最適化はされません。

注

TUV ローブルーライト認定に準拠する Philips ローブルーモード。このモードは、ホットキー  を押した後、上矢印キーを押してローブルーモードを選択すると有効になります。上記の SmartImage 選択手順を参照してください。

3.2 SmartContrast

1 これは何ですか？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由とは？

あなたはどのような種類のコンテンツに対しても、きわめて明瞭な映像が表示され快適な状態で鑑賞できることを求めています。SmartContrastはコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、明るいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすことができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrastをアクティブにすると、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整しバックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

3.3 Adaptive Sync



Adaptive Sync

PC ゲームは長い間不完全な状態でした。GPUとモニターの更新レートが異なるためです。GPUがモニターの1回の更新中に新しいピクチャをたくさんレンダリングできるとき、モニターは各ピクチャの断片を1つのイメージとして表示することがあります。これが「ティアリング」です。ゲーマーは「v-sync」と呼ばれている機能でティアリングを修正できますが、イメージがちぐはぐになることがあります。GPUは、新しいピクチャを届ける前に、モニターが更新を要求するのを待つからです。

v-syncを利用すると、マウス入力の反応や毎秒の全体フレーム数も下がります。AMD Adaptive Syncテクノロジーはこういった問題をすべて解決します。GPUは新しいピクチャが用意できた瞬間にモニターを更新します。信じられないくらい滑らかで、反応性の良い、ティアリングのないゲームを楽しめます。

互換性のあるグラフィックスカードでフォロー。

- AMD Radeon R7 260X
- AMD Radeon R7 260
- プロセッサーAシリーズデスクトップとモバイルAPU
 - AMD A10-7890K
 - AMD A10-7870K
 - AMD A10-7850K
 - AMD A10-7800
 - AMD A10-7700K
 - AMD A8-7670K
 - AMD A8-7650K
 - AMD A8-7600
 - AMD A6-7400K
- オペレーティングシステム
 - Windows 10/8.1/8/7
- グラフィックスカード: R9 290/300-serie & R7 260シリーズ
 - AMD Radeon R9 300 シリーズ
 - AMD Radeon R9 Fury X
 - AMD Radeon R9 360
 - AMD Radeon R7 360
 - AMD Radeon R9 295X2
 - AMD Radeon R9 290X
 - AMD Radeon R9 290
 - AMD Radeon R9 285

4. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
ディスプレイパネルの種類	VA
バックライト	W-LED システム
パネルサイズ	48.8" 幅 (124cm)
縦横比	32:9
画素ピッチ	0.233 x 0.233 mm
典型的なコントラスト比	3000:1
最適解像度	5120 x 1440 @ 60 Hz
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10 (標準)
画像強調	SmartImage
表示色	16.7M (8 ビット)
垂直リフレッシュレート	48~70 Hz
水平周波数	30~140KHz
sRGB	あり
色域	あり
輝度の均一	あり
色差 (標準)	あり
LowBlue モード	あり
EasyRead	あり
Adaptive sync	あり
コネクタ	
信号入力コネクタ	DisplayPort 1.4 x 1、HDMI 2.0 x 2
USB	アップストリーム: USB 3.2 x 2 ダウンストリーム: USB 3.2 x 4 (1つの高速充電B.C 1.2付き)
入力信号	セパレート同期
オーディオケーブル (オプション) イン / アウト	ヘッドフォン出力
ユーザーインターフェース	
ユーザーコントロールキー	  USER /   / OK 
内蔵スピーカー	5 W x 2
マルチ画面	PBP モード、2x デバイス
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他のユーザーインターフェース	VESA マウント (100x100mm)、Kensington ロック
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、Mac OS X、sRGB、Windows 10/8.1/8/7

4. 技術仕様

スタンド			
チルト	-5 / +15°		
スイベル	-20 / +20°		
高さ調節	130mm		
電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	78.3W (標準)	77.7W (標準)	77.2W (標準)
スリープ (スタンバイ)	0.3W	0.3W	0.3W
オフ	0.3W	0.3W	0.3W
オフ (AC スイッチ)	0W	0W	0W
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	267.2 BTU/時 (標準)	265.2 BTU/時 (標準)	263.5 BTU/時 (標準)
スリープ (スタンバイ)	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時
オフ	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時
オフ (AC スイッチ)	0 BTU/時	0 BTU/時	0 BTU/時
オン (ECO モード)	41.7W		
電源 LED インジケータ オン	オン: 白、スタンバイ / スリープモード: 白 (点滅)		
電源	内蔵、100-240VAC、50-60Hz		
寸法			
製品 (スタンド付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	1194 x 568 x 303 mm		
製品 (スタンドなし) (幅 x 高さ x 奥行き)	1194 x 369 x 156 mm		
製品 (梱包付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	1308 x 384 x 553 mm		
重量			
製品 (スタンド付き)	15.20 kg		
製品 (スタンドなし)	10.90 kg		
製品 (梱包付き)	21.22 kg		
環境条件			
温度 (取り扱い時)	0°C ~ 40°C		
湿度 (取り扱い時)	20% ~ 80%		
大気圧 (取り扱い時)	700 ~ 1060hPa		
温度 (非取り扱い時)	-20°C ~ 60°C		
湿度 (非取り扱い時)	10% ~ 90%		
大気圧 (非取り扱い時)	500 ~ 1060hPa		

4. 技術仕様

環境およびエネルギー	
ROHS	対応
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
キャビネット	
色	ブラック
仕上げ	テクスチャ

注

1. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
2. SmartUniformity および Delta E の情報シートは、ボックスに含まれます。

4.1 解像度とプリセットモード

1 最大解像度

5120 x 1440 @ 70 Hz

2 推奨解像度

5120 x 1440 @ 60 Hz

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 x 400	70.09
31.47	640 x 480	59.94
35.00	640 x 480	66.67
37.86	640 x 480	72.81
37.50	640 x 480	75.00
37.88	800 x 600	60.32
46.88	800 x 600	75.00
48.36	1024 x 768	60.00
60.02	1024 x 768	75.03
44.77	1280x 720	59.86
63.89	1280 x 1024	60.02
79.98	1280 x 1024	75.03
55.94	1440 x 900	59.89
70.64	1440 x 900	74.98
65.29	1680 x 1050	59.95
67.50	1920 x 1080	60.00
74.56	1920 x 1200	59.89
66.64	2560 x 1080	59.98
88.79	2560 x 1440	59.95
67.50	2560 x 1440	30.00
133.32	2560 x 1440 PBP mode	60.00
66.625	3840x1080	60.00
133.312	3840 x 1080	59.99
78.063	3840x1080	70.00
43.8	5120 x 1440	30.00
88.83	5120 x 1440	60.00
104.12	5120 x 1440	70.00



- ディスプレイは 5120 x 1440 の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。
- 工場出荷時のデフォルト設定では、HDMI は 5120 x 1440@60Hz の解像度をサポートしています。

解像度を 5120 x 1440@60Hz に最適化するには、OSD メニューに入り、[HDMI 1 EDID Switch] (HDMI 1 EDID スイッチ) または [HDMI 2 EDID Switch] (HDMI 2 EDID スイッチ) を 1 に変更してください。また、グラフィックカードまたは DVD プレーヤーが 5K1K をサポートしていることを確認してください。

HDMI の設定については FAQ を参照してください。

Language	Horizontal	Audio Source
	Vertical	Volume
	Transparency	Brightness
OSD Settings	OSD Time Out	KVM
	User Key	HDMI EDID Switch ✓
USB Settings		
Setup		

5. 電源管理

PCにVESA DPM準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が発出されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平 同期	垂直 同期	使用電力	LED 色
アク ティブ	オン	あり	あり	77.7W(標準) 155.7W(最大)	白
スリープ (スタン バイ)	オフ	なし	なし	0.3W	白(点滅)
スイッ チオフ	オフ	-	-	0W	オフ

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

- ・ ネーティブ解像度: 5120 x 1440
- ・ コントラスト: 50%
- ・ 輝度: 70%
- ・ Color temperature (色温度): 6500k (完全な白パターンの場合)
- ・ オーディオ / USB インターフェース 非アクティブ (オフ)



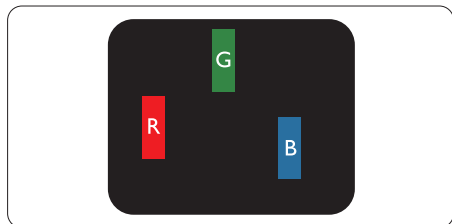
注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

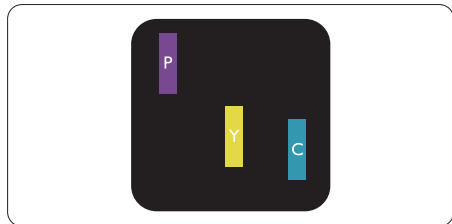
6. カスタマサポートと保証

6.1 Philips のフラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するよう努めています。当社は、業界で最も進んだ製造プロセスと可能な限り厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、フラットパネルディスプレイで使用される TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素にやむを得ず欠陥が生じる場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるディスプレイを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類の欠陥について許容レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を得るには、TFT ディスプレイパネルの画素欠陥数がこれらの許容レベルを超えている必要があります。例えば、ディスプレイのサブ画素



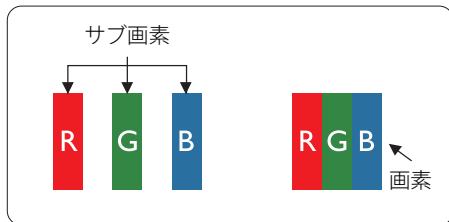
1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素:

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)

の 0.0004% を超えると欠陥となります。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社と比較して著しく高い品質基準を設けています。このポリシーは世界各国で適用されます。



画素とサブ画素

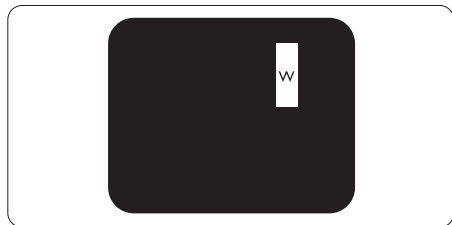
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはディスプレイが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。次に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。



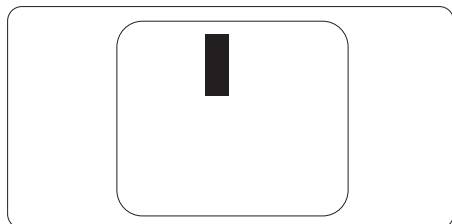
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

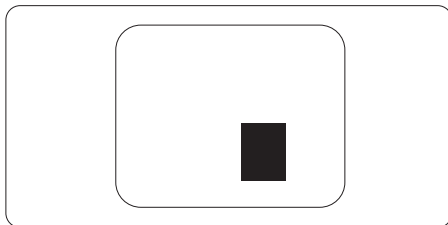
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いか「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはディスプレイが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。次に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルディスプレイの TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素欠陥数が、次の表の許容レベルを超えている必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	3
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	5つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	5つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	1
2つの黒いドット欠陥の間の距離 *	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	10つ以下
ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	10つ以下

ⓘ 注

1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥。

6.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Webサイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りのPhilipsカスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

ⓘ 注

1. 各地域のサービスホットラインについては、規制とサービス情報マニュアルをご参照ください。Philipsウェブサイトのサポートページからご入手いただけます。
2. スペア部品は、最初の購入日から最低3年間、または製造終了後1年間のどちらか長い方で、製品の修理に使用できます。

7. トラブルシューティング & FAQ

7.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

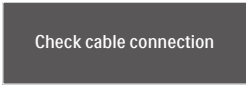
写真が表示されない(電源LEDが点灯しない)

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない(電源LEDが白くなっている)

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニターケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



Check cable connection

- ディスプレイケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(クイックスタートガイドも参照してください)。
- ディスプレイケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

AUTO(自動)ボタンが機能しない

- 自動機能はVGA-Analog (VGA アナログ) モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆ

くものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注

Auto(自動)機能は、DVI-Digital (DVI デジタル) 信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順も行わないでください。
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philips カスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSD メインコントロールで「Auto(自動)」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSD メインコントロールで Setup(セットアップ)の Phase/Clock(フェーズ/クロック)を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGA モードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPC にしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



- OSD メインコントロールで「Auto(自動)」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSD メインコントロールで Setup(セットアップ)の Phase/Clock(フェーズ/クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGA モードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される



- OSD メインコントロールで「Auto(自動)」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSD メインコントロールで Setup(セットアップ)の Phase/Clock(フェーズ/クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGA モードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- ・ オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- ・ 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。
- ・ モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- ・ LCD ディスプレイが変化のない静止コンテンツを表示している場合は、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- ・ スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。上で触れた損傷は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- ・ PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネイティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ・ ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用する液晶の通常特性です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

* 「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- ・ OSDのメインコントロールの電源LEDセッティングを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

それ以外のお問い合わせについては、規制とサービス情報マニュアルに記載されたサービスお問い合わせ情報を参照し、Philipsのカスタマーサービス担当者までご連絡ください。

* 機能はディスプレイにより異なります。

7.2 一般FAQ

Q1: ディスプレイを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode」(このビデオモードを表示できません)というメッセージが表示された場合は、どうすればよいですか？

A: このモニタの推奨される解像度：
5120 x 1440.

- ・ すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- ・ WindowsのStart(スタート)メニューで、Settings/Control Panel(設定/コントロールパネル)を選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。Display(画面)のコントロールパネル内部で、「Settings」(「設定」)タブを選択します。設定タブの下に「Desktop Area(デスクトップ領域)」とラベルされたボックスで、スライダを5120 x 1440画素に動かします。
- ・ 「Advanced Properties」(詳細プロパティ)を開き、Refresh Rate(リフレッシュレート)を60 Hzに設定し、OKをクリックします。
- ・ コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが5120 x 1440 @ 60 Hzに設定されていることを確認します。
- ・ コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
- ・ ディスプレイをオンにしてから、PC をオンにしてください。

Q2: LCD ディスプレイの推奨リフレッシュレートを教えてください。

A: LCD ディスプレイの推奨リフレッシュレートは60 Hzです。画面が乱れた

場合は、75 Hz まで設定し、乱れが消えることを確認してください。

Q3: CD-ROM の .inf と .icm ファイルは何のためのものですか？ドライバ(.inf と .icm) はどのようにインストールできますか？

A: これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ(.inf と .icm ファイル) またはドライバディスクを求められます。指示に従って、このパッケージに含まれる付属 CD-ROM を挿入してください。モニタドライバ(.inf と .icm ファイル) は、自動的にインストールされます。

Q4: 解像度はどのように調整すれば

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？

A: ビデオカード / グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows® のコントロールパネルの「Display properties (画面のプロパティ)」で好みの解像度を選択することができます。

Q5: OSD を通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？

A: OK ボタンを押し、次に「Reset (リセット)」を選択してすべての工場出荷時設定に戻します。

Q6: LCD 画面はきつき傷への耐性がありますか？

A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？

A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: モニタの色設定を変更できますか？

A: はい、OSD コントロールを介して、次の手順で色設定を変更できます。

- ・「OK」を押して OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューを表示します
- ・「下矢印」を押してオプション「Color (色)」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。

1. Color Temperature (色温度) :
ネイティブ、5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500K の6つの設定があります。5000K 範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤-白色調で」と、また 11500K 温度範囲では、「冷たい青-白色調」というメッセージが表示されます。
2. sRGB : これは、標準設定で、異なるデバイス (デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど) 間で色が正しく変換されることを確認します。
3. User Define (ユーザー定義) : ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り (ケルビン度) によって表されます。2004K など低いケルビン温度は赤で、9300K などの高い温度は青です。6504K での中間温度は、白です。

Q9: LCD ディスプレイを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか？

7. トラブルシューティング & FAQ

A: はい、できます。すべての Philips LCD ディスプレイは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにディスプレイを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売担当者にお問い合わせください。

Q10: Philips LCD ディスプレイはプラグアンドプレイ対応ですか？

A: はい。ディスプレイは、Windows 10/8.1/8/7 とのプラグアンドプレイに対応しています。

Q11: LCD パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

A: 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないど焼き付き、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。
ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
LCD ディスプレイが変化のない静止コンテンツを表示している場合は、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

⚠ 警告

ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずにのこり、修理することはできません。これらによる損傷は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

A: お使いの LCD ディスプレイは 5120 x 1440 @ 60 Hz のネイティブ解像度で最高の性能を発揮します。最高の表示品質を得るには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーを解除 / ロックする方法は？

A:  / OK を 10 秒間押して、ホットキーを解除 / ロックします。こうすると、次に示すように、モニタは「注意」をポップアウト表示し、ロック解除 / ロック状態を示します。

Display controls unlocked

Display controls locked

Q14: DVDプレーヤー、ブルーレイプレーヤーなどをこのコンピュータの HDMI ポートに接続すると、画面にも表示されないのはなぜですか？

A: 1. カスタマイズされた「USER」(ユーザー) ホットキーを押します。(このホットキーのデフォルト設定は「HDMI EDID Switch」(HDMI EDID スイッチ)です)、次に「2」を選択します。これで画面上にコンテンツを表示することができます。
2. 「ユーザーキー」ホットキーがすでに他の機能に割り当てられている場合は、次の操作を行ってください:

最初に別のソースに変更し、OSD メニューに移動して、「HDMI EDID Switch」機能の設定を「2」に変更します。

その後、ソースを HDMI に戻します。

Q15: EDFUで言及された規制とサービス情報マニュアルはどこで入手できますか？

A: 規制とサービス情報マニュアルは Philips ウェブサイトのサポートページからダウンロードいただけます。

7.3 Multiview FAQ

Q1: ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか？

回答: 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオソースの入力を変更したい場合 (例: ビデオソース入力には関わりなく独立して MP3 プレーヤーを聴く)、を押して OSD メニューに入ることができます。[Audio](オーディオ)メインメニューからお気に入りの [Audio Source](オーディオソース) オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにすると、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して「デフォルト」モードにする必要があります。

Q3: PBP を有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか？

回答: サブウィンドウのビデオソースが i-timing(interlace timing/ インターレースタイミング) になっているためです。サブウィンドウの信号ソースを P-timing(progressive timing/ プログレッシブタイミング) に変更してください。



2020©TOP Victory Investments Ltd. 無断複写・転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M9498PE1T